

町消防団に新たな防災力

平成25年度町消防団任命式



新しい消防活動服に身を包んだ新入団員(右3列)



人形で心肺蘇生法の訓練

ホースを伸ばす新入団員

宣誓する森崎団員

役場大会議室で4月7日、町消防団任命式が行われ、新体制が整いました。式では、住永町長から早田哲也団長に任命書が手渡され、早田団長から幹部12人、新班長33人、新入団員33人に対して

任命書が交付されました。

もりたきしろうじ

新入団員を代表して森崎翔吾団員(小池秋永)が「忠実に消防の義務を果たします」と宣誓。団員に対し住永町長は「安心と安全なくして町の発展はない。しっかりとした活動を期待する」と激励しました。

式終了後、団員らは高遊原南消防署に場所を移し、訓練を実施。同消防署員から、初期救命手当ての「AED操作法」や規律訓練、ホースの取り扱い方などの講習を受けました。

町消防団新幹部(敬称略)
 団長 早田哲也(下小谷)
 副団長 本田 寛(磐城町内)
 指導員 知名石英二(畑 中)
 第1分団長 増田優治(東無田)
 第2分団長 福本貴胤(小池秋永)
 第3分団長 松岡伸二(福 富)
 第4分団長 北野幸輝(磐城町内)
 第5分団長 齊藤 徹(寺中塚)
 副分団長 門川昌功(寺 迫)
 副分団長 西田昭吾(南 川)
 副分団長 作取精二(川内田)
 副分団長 前田俊春(上小谷)
 副分団長 渡邊 靖(下小谷)

認知症ケアの質向上のため

町内の介護関係事業所が連携し、成果を報告



問題点やデータなどを発表する参加者

交流情報センターミナテラスの視聴覚室で3月27日、町内で通所サービスを行う9つの施設が集まり、認知症予防の取り組み実績を発表し合う、成果報告会を行いました。認知症ケアの質向上のため、昨年11月から現在まで全6回にわたって行われた認知症予防運営マニュアル研修会。研修後、各施設ごとに持ち帰った認知症予防のプログラムを一定期間行い、それにより得ら



他の事業所の発表に聞き入る参加者

れた効果や問題点などのデータを発表。各事業所間で認知症予防の知識や技術について研鑽し合いました。

研修会で講師を務めた特別養護老人ホーム「みゆきの里」の川畑智さんは「認知症予防の取り組みを行う事業所が、まだまだ少ないのが現状。町が介入することで、事業所同士が連携し、認知症予防に対する技術の全体的なベースアップの機会になれば」と話しました。

今回の報告会で得られたデータは、各事業所の垣根を越えて利用されるそうです。